

Peripheral Driver Generatorご使用上のお願い

Peripheral Driver Generatorの使用上の注意事項を連絡します。

- RX630, RX631 および RX63Nグループマイコンでメインクロック発振源に外部クロック入力を選択する場合の注意事項

1. 該当製品

Peripheral Driver Generator V.2.04~V.2.09

2. 内容

RX630, RX631またはRX63Nグループマイコンにおいて、メインクロック発振源に外部クロック入力を選択、「メインクロック(EXTAL入力)周波数」を17 MHz以上に設定しソース生成すると、エラーが発生してソース生成できない場合があります。

本問題は、メインクロックの設定と関連するRTC (リアルタイムクロック) の周波数比較値のエラーチェックが、RTCが未使用の状態にもかかわらず実行されることが原因です。

2.1 発生条件

以下の手順をすべて満たす場合に発生します。

(1) RTCaタブで以下の手順の操作を行う。

- 「リアルタイムクロックを使用する」チェックボックスのチェックを入れる。
- 「カウントソース選択」メニューで「メインクロック」を選択する。
- 「リアルタイムクロックを使用する」チェックボックスのチェックを外す。

(2) SYSTEMタブで以下の設定をする。

- 「メインクロック発振源」で「外部クロック入力」を選択する。
- 「メインクロック(EXTAL入力)」で17 MHz以上の値を入力する。

(3) (1)および(2)の操作後、ツールバーの「ソースの生成」を実行する。

説明 :

(1)-cでRTC未使用の状態ですが、RTCの周波数比較値が有効になり、エラーチェックを行う状態になります。なお、(1)-cの操作を行う前にRTCの周波数比較値エラーの条件が成立している場合、(1)-cの操作後に本来消えるはずのエラーが表示されたままになります。

(2)-bを実施すると、RTCの周波数比較値でエラーが発生し、RTCaタブの周波数比較値にエラーアイコンが表示されますが、RTCaタブにはエラーアイコンが表示されません。

周波数比較値でエラーが発生しているため、(3)でソース生成ができません。

3. 回避策

以下の手順で周波数比較値のエラーチェックを行わない状態にして下さい。

- (1) RTCaタブを選択する。
- (2) 「リアルタイムクロックを使用する」のチェックを入れる。
- (3) 「カウントソース選択」で「サブクロック」を選択する。
- (4) 「リアルタイムクロックを使用する」のチェックを外す。

4. 恒久対策

今後のバージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。